

資料1

一般用医薬品のリスク区分の妥当性を検討する成分について

No.	成分(告示名)	現在のリスク区分	薬効群	投与経路	検討する理由
1	アゼラスチン	第1類医薬品	その他のアレルギー用薬	内服	製造販売後調査の終了
2	アデノシン三リン酸	第1類医薬品	その他(いずれの薬効群にも属さないもの)	内服	自主的な製造販売後調査の終了
3	ケトチフェン。ただし点鼻剤を除く。	第1類医薬品	鼻炎用内服薬	内服	製造販売後調査の終了
4	ケトプロフェン。ただし、貼付剤に限る。	第1類医薬品	鎮痛・鎮痒・収れん・消炎薬(パップ剤を含む)	外用(貼付剤)	製造販売後調査の終了
5	トリアムシノロンアセトニド	第1類医薬品	口内炎用薬	外用(口腔内貼付剤)	製造販売後調査の終了
6	ラノコナゾール	第1類医薬品	水虫・たむし用薬	外用	製造販売後調査の終了
7	ミノキシジル	第1類医薬品	毛髪用薬	外用	再審査結果の報告